

清泉女子大学  
データサイエンス AI 教育プログラム  
自己点検・評価報告書

2023 年度

清泉女子大学では、2022 年度より「清泉女子大学データサイエンス AI 教育プログラム」を実施している。2023 年度のプログラム実施について、清泉女子大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム運営委員会にて自己点検・評価を行った結果は以下のとおりである。

| 自己点検・評価の視点               | 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学内からの視点                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| プログラムの履修・修得状況            | 本教育プログラムは、必修科目 2 科目と選択必修科目 2 科目の 4 科目から構成されている。従って、本教育プログラムを修得しようとする学生は、4 科目のうちの選択必修科目 1 科目を積極的・意識的に履修登録する必要がある。2023 年度は、選択必修科目のうち「現代社会と AI」で 21 名、「数理リテラシー」で 19 名、そのうち重複者 1 名を除き、計 39 名の学生が本教育プログラムを修得した。                                                                                                                                                                                                                         |
| 学修成果                     | <p>本教育プログラムを構成する 4 科目のうち、選択必修科目である「現代社会と AI」の履修登録者に占める単位修得者の割合が 78%、「数理リテラシー」については 90%となっている。従って、シラバス上の到達目標に鑑みた履修者の学修成果は概ね所定の水準に達していると判断できる。</p> <p>その一方で、本教育プログラムを構成する 4 科目のうち必修 2 科目は複数クラスから構成されていて 4 名の教員が分担担当しているために、クラスごとに課題の詳細や成績評価の基準が異なっており、結果的に全クラスを通しての学修成果の評価検討が困難になっている。</p> <p>2023 年度は、複数クラスから構成される授業科目の一つである「情報科学入門 1b」において、学修成果を測定する評価課題が試作され、それが一部の履修者に対して実施された。しかし、それによって同科目の履修者全体の学修成果を統計的に推測できる結果は得られていない。</p> |
| 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度    | 2023 年度は、本教育プログラムを構成する 4 科目の授業評価アンケートにおいて、この教育プログラムの内容に特化した指標・設問を検討・開発しそれを試行した。「この授業で少しでも扱われていたと思う項目をすべて選ぶ」という設問では、必修科目の「情報科学入門 1b」では学生がどの授業でどの項目が扱われているかについて十分に理解していないことがわかった。また、必修科目「情報科学入門 1b」「情報科学入門 2」及び選択必修科目「数理リテラシー」の科目間で、学生がどの項目を扱っているのかについての理解は分布の差があるので、ある程度は理解していることも読み取れた。                                                                                                                                            |
| 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度 | 「本教育プログラムの意義や科目構成について十分な説明を行うこと」については、2023 年度の入学者に対して、2022 年度と同様の方法で、本教育プログラムの概要が解説された。また、「履修者が「他の学生に履修を勧めるか」について調査する」ことについては、該当する処置が実施されていない。                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|                                          |                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況             | 2022 年度は、本教育プログラムを構成する 3 科目のうち選択科目については、履修者数が 9 名であったが、2023 年度は学期初めのガイダンス等で案内を行い、選択必修科目 2 科目の履修者が 48 名となった。2024 年度においても 2023 年度と同様に、学期初めのガイダンス等で学生に本教育プログラムについて周知し、履修者数向上を目指す。                                           |
| 学外からの視点                                  |                                                                                                                                                                                                                          |
| 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価                | 2023 年度末時点では、本教育プログラムの各科目を履修した学生は 1・2 年次生のみである。そのため、相当する学生のキャリア意識を調査することは困難であり、また、本教育プログラムを修得した卒業者に対する社会からの評価を調査することも不可能な状態である。                                                                                          |
| 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見            | 2023 年度末時点では、本教育プログラムの内容・手法等について学外から意見を聴取していない。<br>そこで、2024 年度は、本教育プログラムの内容・手法等について学外からの意見を聴取するために、どのような具体的な方法が適切・可能であるかを検討し、可能な範囲でそれを実現することを目指す。                                                                        |
| 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること | 履修者が経験している AI・データサイエンスの事例の背景・仕組みを、授業において詳細に実演・提示することによって、履修者の集中度や関心が高まったり課題に意欲的に取り組むようになったという事例が授業担当教員より報告されている。<br>一部の認定対象科目では、X や Instagram や TikTok を通した情報漏洩の具体的な方法がとり上げられるなど、履修者が日常利用している環境・状況の中でモデルカリキュラムの話題が解説された。 |
| 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること         | 対象科目を履修する上で前提要件となる数量スキルについて、十分な学力をもたない履修者が散見されるという事実が授業担当教員から報告されている。<br>2024 年度入学者より入学時に数学基礎力テストを実施し、対象科目を履修する上で前提要件となる数量スキルが備わっているかどうかを測るためのアセスメントを試行的に実施することとした。                                                      |